

ハンドマイク宣伝例「北朝鮮——」対話による解決」しか道はない その2」

2017年8月29日

道常任委員会

みなさんこんにちは

日本共産党の〇〇です。この場をお借りして、日本共産党の訴えをさせていただきます。しばらくの間、ご協力をお願いいたします。

みなさん

8月29日、北朝鮮は弾道ミサイルの発射を強行しました。これを受け、日本共産党の志位委員長は談話を発表しました。日本上空を飛び越える発射は危険な行為であり、世界の平和にも大きな脅威です。日本共産党は、北朝鮮のミサイル発射を、度重なる国連安保理決議などに違反する暴挙であり、厳しく糾弾し抗議します。また、軍事衝突は絶対に回避すべきであり、関係国には経済制裁を強めるとともに、「対話による解決」を追求するよう、強く要請します。

この間北朝鮮を巡って、情勢が緊迫しています。北朝鮮は「グアム島周辺への射撃」を検討していると発表し、アメリカのトランプ大統領も、軍事的に威嚇する発言で応じました。核兵器を含めた武力をちらつかせながら、言葉で脅しをかけ合うことは、非常に危険です。政府には本当に武力行使をするつもりがなくても、間違つて軍事衝突が起きてしまう恐れがあるからです。必要なことは、北朝鮮が軍事的な挑発をやめることと、アメリカと北朝鮮が無条件で直接対話することではないでしょうか。

みなさん

いま世界は、対話による解決を強く求めています。アメリカ政府はこれまで、北朝鮮の核廃棄を対話の条件にしていますが、その後「軍事的挑発をやめれば対話する」と態度を和らげています。韓国の人（ムン）大統領は、「朝鮮半島で戦争を起こすな」と訴え、対話呼びかけました。ロシアと中国も、対話と交渉を通じた解決を訴えています。ドイツの首相やイギリス労働党のコービン党首も、武力行使に明確に反対し、対話と外交を強めるよう要求しました。

ところが日本政府だけが、安倍首相が「対話による対話は意味がない」と発言するなど、直接対話を頭ごなしに否定する態度を強めています。さらには、集団的自衛権を使ってアメリカの戦争に参加する可能性まで、口にしています。平和憲法を持つ国として、対話を否定するなど、異常な態度ではないでしょうか。対話を無意味なものとして投げ捨てる今の安倍政権は、和平を呼びかける世界の願いに真向から逆らっています。みなさん、国民を守るための、最も有効な立場は、軍事衝突を絶対に起こさせないように、外交的に解決させることではないでしょうか。日本共産党は、アメリカと北朝鮮の直接対話を実現させるよう、日本政府に強く訴えます。

みなさん

いま必要なことは、緊張を和らげて、国同士の話し合いを始めることです。日本共産党は、8月12日にも志位委員長が声明を発表しました。その中で、北朝鮮に対して「グアム周辺への射撃」計画などの軍事的な挑発行為を中止するよう求めました。その上で、アメリカと北朝鮮に対して「無条件で直接対話をするよう、強く訴えました。そして日本政府に対しても、アメリカと北朝鮮の直接対話を実現させる努力をするよう、要求しました。

みなさん。武力行使は絶対にしてはなりません。万が一軍事衝突が起これば、米軍基地のある日本が戦闘に巻き込まれ、おびただしい命が失われることは明らかです。互いに武器を取るのではなく、互いに話し合いのテーブルにつくために、ありとあらゆる知恵を絞り、力を尽くすことです。安倍政権は、軍事的対応をおおるような態度をただちに止め、平和的・外交的解決のために、全力を尽くすべきです。

日本共産党の発行する「しんぶん赤旗」は、日刊紙はひと月3497円、日曜版は823円です。「しんぶん赤旗」の購読もお願い申し上げます。この場での訴えとさせていただきます。

ご清聴ありがとうございます。